

(3) 第2期千葉市自殺対策計画 の見直しについて

1 現計画及び中間見直し

- 第2期千葉県自殺対策計画（H30.10～R10.9）[10年間]**
自殺対策基本法に基づく市町村自殺対策計画
→ 国が定める**自殺総合対策大綱、地域の実情**を勘案して策定
- R4.10に大綱の見直しが行われたことを受け、本市の計画も中間見直しを行い、大綱の見直し内容を反映（R5.10施行）**

2 自殺総合対策大綱の主な見直し内容

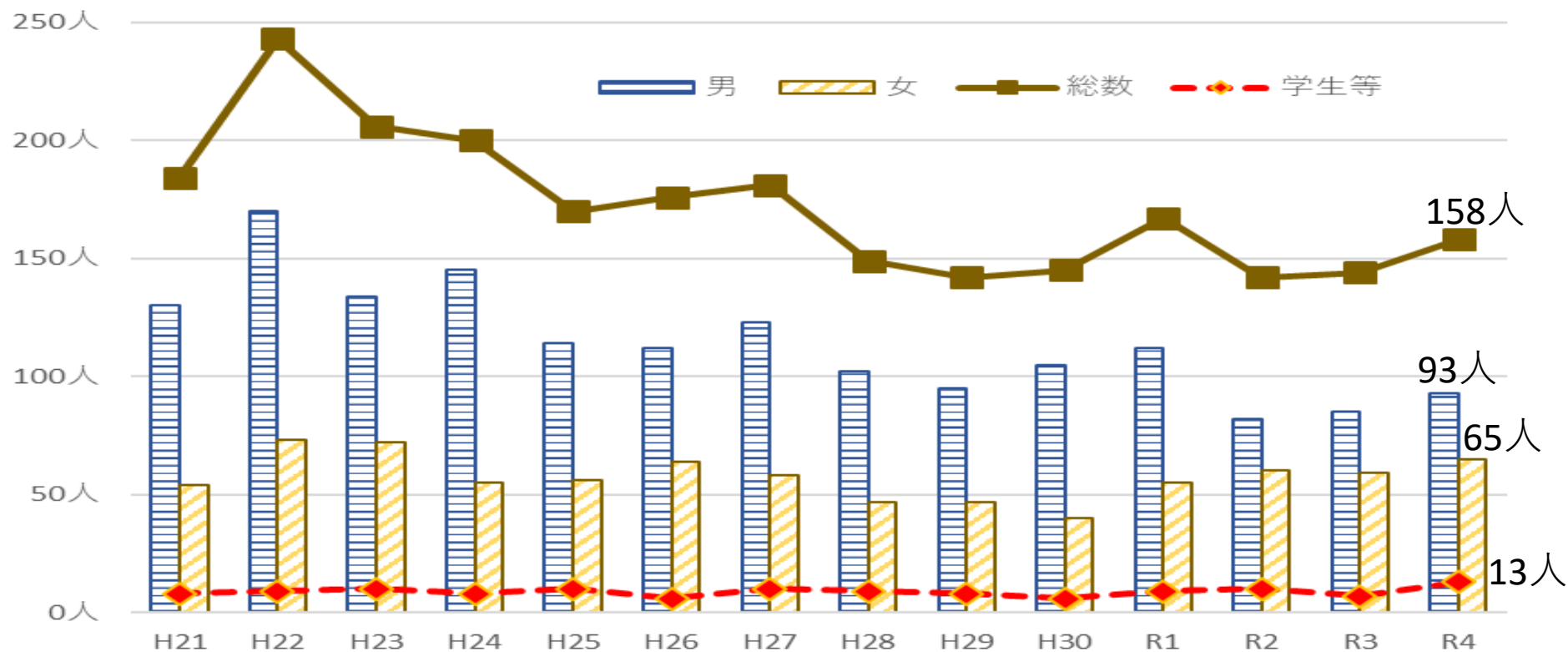
- 全国の自殺者数は毎年2万人を超える水準で推移**
 - ・男性が約7割だが、近年、子ども・若者や女性が増加傾向
→ **子ども・若者や女性の自殺対策を強化**
 - ・**新型コロナウイルス感染症拡大の影響を踏まえた対策**を推進ほか

3-1 千葉市の状況（自殺者数）

●近年における本市の自殺者数は、概ね横ばいで推移（図1）

- ・ R2以降、女性は4割超の高い状況が継続
- ・ 学生等(児童生徒を含む)は平均約9人で推移

（図1）【千葉市】自殺者数の推移（警察庁自殺統計）

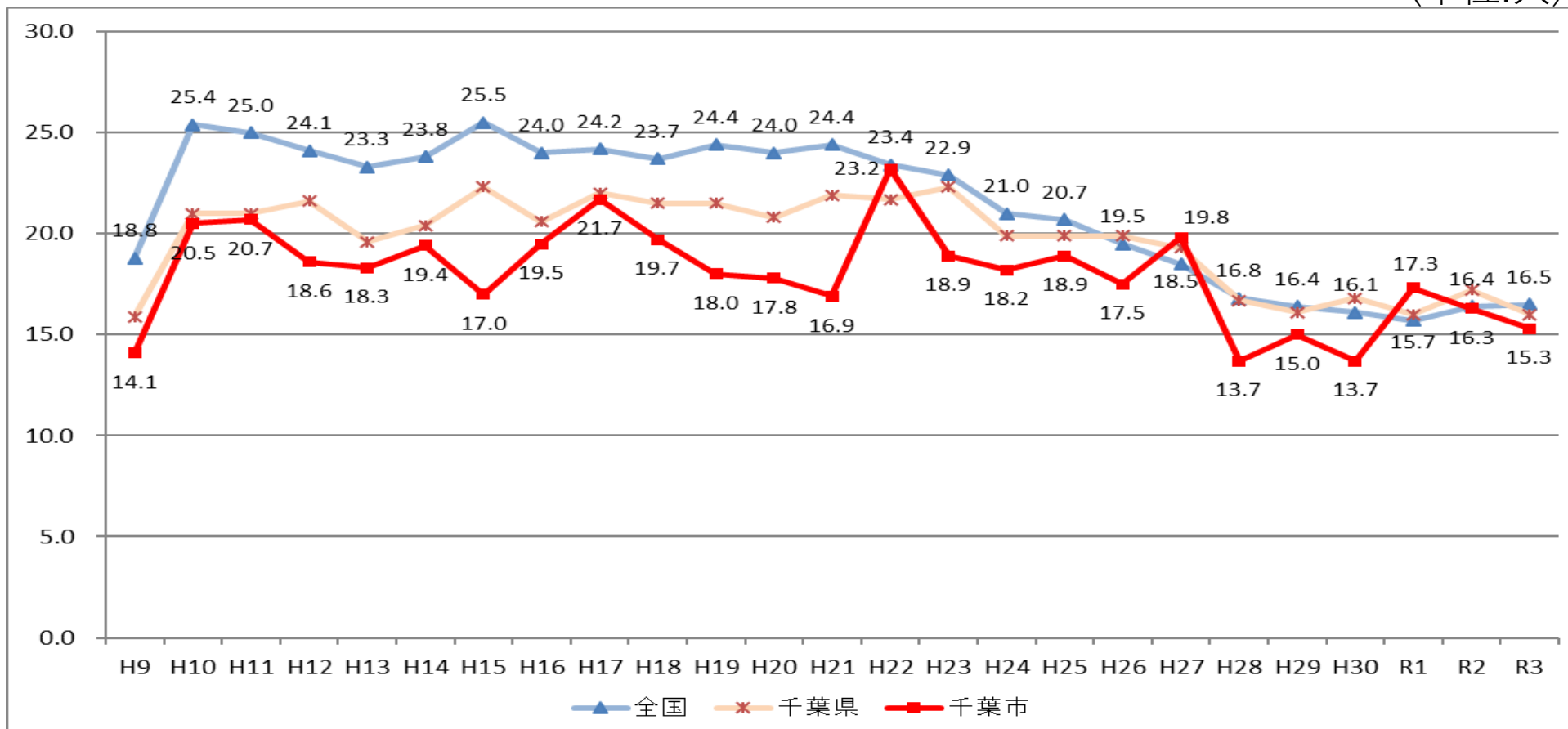


3-2 千葉市の状況（自殺死亡率）

- 自殺死亡率(人口10万人あたりの自殺者数)では、近年、全国や県との差が縮まっている。(図2)

(図2) 自殺死亡率の推移(全国・千葉県・千葉市)

(単位:人)



3-2 千葉市の状況（自殺死亡率）

- 直近5年間(H29～R3)の自殺死亡率の平均は、全国平均に比べて女性・若い世代の数値が高い（表1）

（表1）性別・年代別自殺死亡率(H29-R3平均)

（単位:人）

	男性			女性		
	千葉市	比較	全国	千葉市	比較	全国
全年代	19.94	<	22.67	10.93	>	10.14
20歳未満	4.49	>	3.77	1.98	<	2.37
20歳代	26.26	>	23.96	14.61	>	11.42
30歳代	19.67	<	24.45	9.84	>	9.49
40歳代	24.44	<	26.08	13.09	>	10.78
50歳代	25.57	<	30.5	10.64	<	12.71
60歳代	21.17	<	24.19	11.39	>	10.88
70歳代	23.19	<	26.93	15.83	>	13.23
80歳以上	19.89	<	34.34	13.72	>	12.97

※自殺死亡率 = 人口10万人あたりの自殺者数

4 計画の進捗状況

(1) 計画の数値目標

自殺死亡率は計画時より減少しているが、R元年に大きく増加し、その後2年間も高い数値が継続

	計画時 H21～H28平均	目標 R6～R8平均	現状 R1～R3平均
自殺死亡率	18.4	13.0以下	16.3

※自殺死亡率＝人口10万人あたりの自殺者数

(2) 16の評価指標

半数の指標において、目標達成又は目標に向かって改善したものの、半数は変化なし又は悪化 → コロナ禍の影響など

評価	内容	計
◎	現状値が目標を達成している	6
○	現状値が目標に向かって改善している	2
△	現状値がほぼ変化していない	6
×	現状値が悪化している	2

4 計画の進捗状況

(3) 指標の進捗状況 (例)

	計画時 (H29年度)	目標 (R8年度)	現状 (R3年度)
◎ 自殺対策相談窓口会議	未実施	実施	実施
○ ゲートキーパー研修 受講者の累計	131人	累計900人	累計464人
△ ひきこもり地域支援セン ターの訪問支援延べ件数	186件	219件	160件
× ふれあい・いきいき サロンの実施回数	3,651回	4,757回	1,841回

※ 6 指標を見直し

目標達成により削除したもの…………… 1 (生活自立・仕事相談センター)

別計画の目標値と整合をとったもの… 5 (ふれあい・いきいきサロン他)

5 中間見直し後の構成

赤字の項目を新規追加

第1章 計画の策定にあたって

- 1 計画策定の趣旨
 - (1) 「誰も自殺に追い込まれることのない千葉市」の実現を目指す
- 2 計画の位置付け
 - (1) 自殺対策基本法第13条第2項に基づき策定する市町村自殺対策計画
 - (2) 自殺総合対策大綱及び県自殺対策推進計画との関係
- 3 計画期間及び数値目標
 - (1) 平成30年(2018年)10月から令和10年(2028年)9月まで(10年間)
 - (2) 令和6～8年(2024～2026年)の本市の自殺死亡率を13.0以下に減少させる

第2章 自殺の現状及び基本認識

- 1 千葉市における自殺の特徴
 - (1) 全国や千葉県、他の自治体との比較
 - (2) 自殺者数、自殺死亡率の推移（全国、千葉県、千葉市）、WEBアンケート調査結果
- 2 自殺に対する基本認識
 - (1) 自殺はその多くが追い込まれた末の死
 - (2) 年間自殺者数は減少傾向にあるが、非常事態はいまだ続いている
 - (3) 新型コロナウイルス感染症拡大の影響を踏まえた対策の推進（新）
 - (4) 実践的な取組をPDCAサイクルを通じて推進する
- 3 計画の振り返りと課題
 - (1) 数値目標と評価指標の現状、計画の振り返りと課題
 - (2) 計画の中間見直しの概要

5 中間見直し後の構成

第3章 自殺対策の基本方針

- 1 生きることの包括的な支援として推進する
自殺対策はSDGsの達成に向けた政策としての意義も持つ（新）
- 2 関連施策との有機的な連携を強化して総合的に取り組む
重層的支援体制整備事業、孤独・孤立対策等との連携（新）
- 3 対応の段階に応じてレベルごとの対策を効果的に連動させる
- 4 実践と啓発を両輪として推進する
- 5 「気づく」・「支え合う・関わる」・「つなぐ」
- 6 自殺者の名誉及び生活の平穏に配慮する（新）

第4章 重点取組施策

- 1 高齢者へのサポート
- 2 若年層へのサポート
- 3 女性へのサポート（新）
- 4 連携体制の強化

5 中間見直し後の構成

第5章 生きる支援の具体的な取組

生きる支援の3つの柱

気づく～普及啓発、人材育成～

- 1 自殺の実態を明らかにする
- 2 市民一人ひとりの気づきと見守りを促す
- 3 自殺対策に係る人材の確保、養成及び資質の向上を図る

支え合う・関わる～当事者・支援者へのサポート～

- 4 当事者へのサポートを推進する
 - (1) 相談体制の充実・心の健康づくりの推進
 - (2) 若年層へのサポート
 - (3) 支援を必要とする方へのサポート
- 5 支援者へのサポートを推進する

つなぐ～ネットワークの強化～

- 6 地域全体の自殺リスクを低下させる

第6章 計画の推進に向けて

- 1 計画の推進体制
- 2 計画の進行管理

5 中間見直し後の構成

● 第5章「生きる支援の具体的な取組」に

子ども・若者に関する8事業

女性に関する6事業

を新たに位置づけるなど、

掲載事業数は合計で 18事業の増 (119 → 137)



中間見直しによる掲載事業の増減

子ども・若者 (+ 8 事業)	1	子ども・若者相談センター(Link)
	2	SNS@ちば
	3	ネット安全教室
	4	キャリア教育の推進
	5	ネットパトロール
	6	ヤングケアラー支援
	7	こどもの居場所づくり
	8	子ども食堂
女性 (+ 6 事業)	1	ハーモニー相談
	2	ハーモニー専門相談
	3	女性の健康支援
	4	育児ストレス相談
	5	女性のつながりサポート
	6	DV被害等の相談

その他 (+ 7 事業)	1	夜間・休日の心のケア相談
	2	ひきこもりサポート補助金
	3	重層的・包括的支援体制構築
	4	難病等の相談
	5	千葉犯罪被害者支援センター支援
	6	精神障害者ケアラー支援
	7	教員向けゲートキーパー養成

削除 (▲ 3 事業)	1	精神保健福祉実務研修
	2	心配ごと相談所
	3	コミュニティSW増員・育成

6 計画の見直しの経過

- 新たな「**自殺総合対策大綱**」の閣議決定（R4年10月）
- 自殺対策に関する**WEBアンケート調査**の実施（R5年2月）
- **千葉市自殺対策庁内連絡会議**における検討（R4年12月、R5年4月、8月の3回）
- **千葉市自殺対策連絡協議会**における検討（R5年1月、5月、9月の3回）
- **パブリックコメント**手続の実施（R5年6～7月）
- **計画策定・施行（R5年10月）**

【参考】

千葉市自殺対策庁内連絡会議：座長の保健福祉局高齢障害部長ほか
庁内関係課43所属長で構成

千葉市自殺対策連絡協議会：庁外の学識経験者、警察、医療、福祉、
労働、経済、法律関係者及び庁内教育
関係者15委員で構成